

### タケシールC7-OA工法 平場部

工 程	使 用 材 料	使 用 量	方 法	作 業 間 隔
下地処理			下地を洗浄し、十分に乾燥 必要に応じ、カチオン剤にて下地調整	
プライマー塗布 (接着剤塗布)	タケシールE-500プライマー	0.3kg/m <sup>2</sup>	タケシールE-500プライマーのA液とB液を1:4 の重量比で混合した塗布液をローラー・ 刷毛で塗布	1時間以上 2時間以内
通気緩衝シート 貼り	通気緩衝シート CRW3330L	1.0m <sup>2</sup> /m <sup>2</sup>	シワがよらないように通気緩衝シート CRW3330Lを貼り付け	1時間以上 6時間以内
脱気筒設置	タモステンス脱気筒	1箇所/ 30~50m <sup>2</sup>	所定の場所にタモステンス脱気筒を設置	
ウレタン防水材 塗布 1 回目	タケシール#101カラー防水	1.75kg/m <sup>2</sup>	タケシール#101カラー防水のA液とB液を1:1 の重量比で混合した塗布液をコテ、ヘラ、 ローラー、刷毛等で塗布	24時間以上 3日以内
ウレタン防水材 塗布 2 回目	タケシール#101カラー防水	1.7kg/m <sup>2</sup>	タケシール#101カラー防水のA液とB液を1:1 の重量比で混合した塗布液をコテ、ヘラ、 ローラー、刷毛等で塗布	24時間以上 3日以内
トップコート塗布	タケシールSSトップ	0.12~0.15 kg/m <sup>2</sup>	タケシールSSトップのA液とB液を1:10 の重量比で混合した塗布液をローラー・ 刷毛等で塗布	養生時間 24時間以上
設計膜厚		3.0mm		

※作業間隔は気温20℃晴天時の場合のもの

### 立上り部

立上り部は タケシールC4-OAT工法

